



# Java Desktop System Release 2 ご 使用にあたって

---

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No: 817-5987-10  
2004 年 4 月

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2 は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DiComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されず、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: *Java Desktop System Release 2 Release Notes*

Part No: 817-5179-10

Revision A



040519@8606



# 目次

---

はじめに	5
<b>Java Desktop System Release 2</b> ご使用にあたって	9
このリリースの内容	9
既知の問題点	10
マニュアルの場所	12
各国語版のユーザーマニュアルへのアクセス	12
サポートされないマニュアル	12
Mozilla 1.4 のプラグイン	13
Java プラグイン	13
その他のプラグイン	14
Ximian Evolution 1.4 に関するよくある質問 (FAQ)	14
Unicode 多言語コンピューティングへの移行	16
従来の言語オプション	16
データのインポートとエクスポート	17
サポートされる言語	19
ATOK X 日本語入力方式に関する注意事項	20
サポートされていないアプリケーション	20
サポートされない Sun 以外のアプリケーション	21
サポートされないゲーム	22
製品の更新	22
顧客サポート	22
インストールと設定のサポート契約	23



## はじめに

---

本書には、Sun Java™ Desktop System Release 2 に関する情報が含まれています。本書は、Java Desktop System をインストールする前にお読みください。

---

## 関連マニュアル

次に、このマニュアルに関連するマニュアルを示します。

- 『Java Desktop System Release 2 インストールガイド』
- 『Java Desktop System Release 2 クイックスタート・ユーザーズガイド』
- 『Java Desktop System Release 2 問題の解決方法』
- 『Java System Update Service ユーザーズガイド』

---

## 参考マニュアル

次のマニュアルは、このマニュアルの参考になるマニュアルを示します。

- 『GNOME 2.2 Desktop Accessibility Guide』
- 『GNOME 2.2 システム管理 (Linux 版)』
- 『GNOME 2.2 ユーザーズガイド (Linux 版)』
- 『StarSuite 7 Office Suite 管理ガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite 基本ガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite インストールの手引き』
- 『StarSuite 7 Office Suite ユーザーズガイド』
- 『Ximian Evolution 1.4 ユーザーズガイド Sun Microsystems Edition』

---

# Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、http://docs.sun.com です。

---

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。  ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。  system%
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% <b>su</b> password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。  この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ幅を超える場合に、継続を示します。	sun% <b>grep</b> `^#define \ XV_VERSION_STRING`

コード例は次のように表示されます。

### ■ C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[ ] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。



# Java Desktop System Release 2 ご使用 にあたって

---

Java™ Desktop System Release 2 は、オープンソフトウェアをベースとした、完全なデスクトップ環境を提供します。

- 9 ページの「このリリースの内容」
- 10 ページの「既知の問題点」
- 12 ページの「マニュアルの場所」
- 13 ページの「Mozilla 1.4 のプラグイン」
- 14 ページの「Ximian Evolution 1.4 に関するよくある質問 (FAQ)」
- 16 ページの「Unicode 多言語コンピューティングへの移行」
- 19 ページの「サポートされる言語」
- 20 ページの「ATOK X 日本語入力方式に関する注意事項」
- 20 ページの「サポートされていないアプリケーション」
- 21 ページの「サポートされない Sun 以外のアプリケーション」
- 22 ページの「サポートされないゲーム」
- 22 ページの「製品の更新」
- 22 ページの「顧客サポート」

最新のリリースノートについては、<http://docs.sun.com> を参照してください。

---

## このリリースの内容

このリリースの Java Desktop System に含まれるものを表 1-1 に示します。

表 1-1 CD の内容

CD	説明
CD1、CD2、CD3	Java Desktop System をインストールするために必要なすべてのファイルが含まれています。
CD4、CD5	CD1、CD2、および CD3 の内容のソースが含まれています。CD4 と CD5 は、インストール作業には必要ありません。
Documentation CD	Java Desktop System のユーザーマニュアルが含まれています。

## 既知の問題点

既知の問題と回避策については、『*Java Desktop System Release 2 問題の解決方法*』を参照してください。以下の表に、回避策がまだ明らかでない既知の問題を示します。

トピック	既知の問題点
「GNOME について」	バグ ID: 5025654 「GNOME について」ダイアログに誤ったバージョン情報が含まれています。
ファイルマネージャ	バグ ID: 5021163 Nautilus ファイルマネージャは、 <code>nfs:///</code> 経由でアクセス権を継承することができません。そのため、 <code>nfs</code> マウントにあるファイルおよびフォルダのアクセス権を変更できません。

トピック	既知の問題点
各国語化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ このリリースの Java Desktop System には、GNOME コミュニティが各国語化したアプリケーションが数多く含まれています。Sun Microsystems は、これらの各国語版の完全性や正確性については責任を持ちません。</li> <li>■ BMP Unicode 以外の文字を含んでいる文書を Mozilla から印刷することはできません。</li> <li>■ このリリースの Java Desktop System は、システムが使用する glibc のバージョンにより、Hong Kong Supplementary Character Set (HKSCS) の HKSCS-1999 バージョンのみをサポートします。HKSCS-2001 は、Java Desktop System の将来のリリースでサポートされます。HKSCS-1999 と HKSCS-2001 の違いは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ HKSCS-1999 は、ISO-10646/Unicode PUA (私用領域) を使用して、HKSCS に定義されている追加文字で、1999 年時点で ISO-10646/Unicode の一部がなく、現在および将来的にも公式に ISO-10646/Unicode の一部に含まれない追加文字にコードを割り当てます。</li> <li>■ HKSCS-2001 は、HKSCS-1999 に定義されている同じ文字に対して PUA の代わりに ISO-10646/Unicode Plane 2 を使用します。これは、これらの HKSCS 文字が公式に ISO-10646/Unicode の一部として認められたためです。</li> <li>■ HKSCS-2001 は、HKSCS-1999 でサポートされている文字のほかに追加の 116 文字をサポートします。</li> </ul> </li> </ul> <p>HKSCS-1999 の ISO-10646/Unicode はこのリリースの Java Desktop System で使用できますが、HKSCS-1999 と HKSCS-2001 ではコードの割り当てが異なるため、HKSCS-2001 の ISO-10646/Unicode を使用するシステムとの間で文書をやりとりするためには、HKSCS-1999 内の文字を使用する文書を、EUC または Big5 などのエンコーディングにコード変換する必要があります。</p> <p>HKSCS-2001 をサポートするバージョンの glibc は、HKSCS-1999 から HKSCS-2001 へのコードコンバータと共に、このリリースの Java Desktop System 用にダウンロード可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ バグ ID: 5025578 Korean Input Method が有効になっていると、GTK 対応でないアプリケーションでホットキーが使えません。</li> <li>■ バグ ID: 5030768 Java Desktop System 用の Sun Java Studio 5 Standard Edition の CD に含まれる、README.html の中国語の入門ガイドは、誤ったマニュアルにリンクされています。正しいリンクは次のとおりです。 <a href="#">Documentation_zh/getstartedse_zh_CN.pdf</a></li> </ul>

---

## マニュアルの場所

Java Desktop System の PDF 形式および HTML 形式のマニュアルは、次の場所にあります。

- 付属の Documentation CD
- <http://docs.sun.com>.

## 各国語版のユーザーマニュアルへのアクセス

Java Desktop System の各国語版のユーザーマニュアルの中には、GNOME ヘルプブラウザに表示されないものがあります。各国語版のユーザーマニュアルは、付属の Documentation CD または <http://docs.sun.com> から参照できます。

Documentation CD から各国語版のユーザーマニュアルを表示するには、次の手順を実行します。

- Documentation CD をシステムの CD ドライブに挿入します。
- 好みの HTML ブラウザで README.html ファイルを開きます。
- README.html の指示に従って、言語、トピック、希望するマニュアルを選択します。

<http://docs.sun.com> から各国語版のユーザーマニュアルを表示するには、次の手順を実行します。

- 次のページを開きます。  
<http://docs.sun.com>
- 言語選択ボタンから、希望の言語を選択します。  
言語選択ボタンは、そのページの「**Search/browse within**」領域の隣にあります。
- 希望のマニュアル名を「検索」フィールドに入力します。
- 表示されたリストから、希望のマニュアルを選択します。

## サポートされないマニュアル

このリリースの Java Desktop System には、GNOME フリーソフトウェアコミュニティによって提供されるヘルプマニュアルを持つアプリケーションが含まれていません。Sun Microsystems 社（以降「Sun」とする）は、フリーソフトウェアコミュニティによって提供されるマニュアルをサポートしません。また、フリーソフトウェアコミュニティによって提供されるヘルプマニュアルの完全性あるいは正確性についての責任も負いません。次の表は、Java Desktop System ヘルプブラウザで表示可能な Sun がサポートするマニュアルの範囲を示しています。

ヘルプセクション	サポート状況
GNOME デスクトップ	<p>Sun は、サポートするすべてのアプレットおよびアプリケーションのマニュアルを提供します。Sun は、サポートしないアプリケーションのマニュアルは提供しません。サポートしないアプリケーションの一覧については、次の節を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 20 ページの「サポートされていないアプリケーション」</li> <li>■ 21 ページの「サポートされない Sun 以外のアプリケーション」</li> <li>■ 22 ページの「サポートされないゲーム」</li> </ul>
追加マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム Sun は、この節のマニュアルをサポートしません。</li> <li>■ マニュアルページ Sun は、サポートするアプリケーションおよび機能に関する 129 のマニュアルページを提供します。マニュアルページの著作者として Sun (Sun Microsystems 社のエージェント) の明確な著作者表示がない場合、そのマニュアルは Sun によってサポートされません。</li> <li>■ 情報ページ Sun 社は、この節のマニュアルをサポートしません。</li> </ul>

Sun 社は、サポートされないマニュアルの各国語版を提供しません。

## Mozilla 1.4 のプラグイン

この節では、Mozilla 1.4 のプラグインについて説明します。

### Java プラグイン

Mozilla 1.4 では、Java プラグインはデフォルトで有効になっています。Java プラグインが機能しない場合は、`/usr/lib/mozilla/plugins` ディレクトリで、次のファイルを指すシンボリックリンクを作成します。

```
$JAVA_PATH/plugin/i386/ns610-gcc32/libjavaplugin_oji.so
```

---

注 - libjavaplugin\_oji.so ファイルをコピーするのではなく、必ずシンボリックリンクを作成してください。libjavaplugin\_oji.so をコピーすると、Java はクラッシュします。

---

すべての Java プラグインを /usr/lib/mozilla/plugins ディレクトリにインストールします。

## その他のプラグイン

次に示す Sun 以外のプラグインも Mozilla 1.4 で利用できます。

- Adobe Acrobat Reader
- Macromedia Flash Player
- RealPlayer

Mozilla のプラグインについての詳細は、次の場所を参照してください。  
<http://plugindoc.mozdev.org/linux.html>

---

## Ximian Evolution 1.4 に関するよくある質問 (FAQ)

次の表に、Ximian Evolution 1.4 に関する、よくある質問とその回答を示します。

質問	回答
Pilot の設定方法を教えてください。	PalmOS の同期とそれに関する設定については、Pilot Configuration Help (Pilot 設定に関するヘルプ) を参照してください。
Evolution から Pilot にアクセスする方法を教えてください。	「ツール」 → 「パイロットの設定」を選択します。
同期の間、「パイロットの設定」ダイアログを開いたままにしておく必要がありますか。	いいえ。しかし、gnome-pilot プロセスがアクティブであり、適切に機能していることを確認する必要があります。
Evolution の Pilot でサポートされる PalmOS を教えてください。	PalmOS 5 シリーズです。

質問	回答
PalmOS デバイスに接続できません。どうすればよいでしょうか。	<p>ファイルのアクセス権を調べてください。PalmOS デバイスは、デフォルトのままでは機能しません。使用できるデバイスを選択していることを確認してください。たとえば、次のように指定します。</p> <p>USB の場合は <code>ttyUSB0</code>、シリアルクレードルの場合は <code>ttyS0</code> です。</p>
PalmOS は USB デバイス経由で Java Desktop System 上の Evolution と接続できますか。	はい。しかし、USB 経由で PalmOS と接続すると、パソコンのパフォーマンスが著しく低下します。
USB 経由での同期の間、何らかの問題が発生する可能性がありますか。	同期の間、PC が動作しなくなる可能性があります。たとえば、Caps Lock LED や Scroll Lock LED が点滅します。考えられる理由は、USB モジュール、カーネル、あるいは、ハードウェアに関連する問題です。
PalmOS のデータをパソコンにバックアップしたいのですが。	「パイロットの設定」ダイアログから「コンジット」タブを選択して、「バックアップ」オプションを有効にします。
Evolution を使用してパソコンから PalmOS にバックアップファイルをコピーしたいのですが。	Pilot を使用すると、パソコンから PalmOS にバックアップデータを復元できます。また、いくつかのコマンドラインツールも使用できます。 <code>gnome-pilot-install-file/pilot-xfer</code>
Evolution はカテゴリの同期をサポートしますか。	Evolution の Conduits はカテゴリの同期をサポートしません。
Java Enterprise System アカウントと PalmOS デバイス間でデータを同期できますか。	はい。ただし、デフォルトカレンダーとタスクフォルダを Java Enterprise System フォルダに設定する必要があります。Evolution から「ツール」→「設定」→「Folder Settings」→「Default Folders」を選択します。
Evolution と PalmOS デバイス間で同期をとることはできますか。	Evolution は PalmOS と直接には通信できません。Evolution は、Pilot のプラグインとして動作する Conduits を使用します。Pilot は、PalmOS デバイスと通信します。
Evolution と Pocket PC 間でデータの同期をとることはできますか。	いいえ。Evolution と Pocket PC 間ではデータの同期を直接とることはできません。しかし、Sync や MultiSync などのオープンソースツールを使用すれば、Evolution のアドレス帳の同期をとることができます。

質問	回答
「リンクを送信」や「ページを送信」をクリックしたときに Evolution が起動しないように Mozilla を設定したいのですが。	次のいずれかのファイルを開きます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ \$HOME/.mozilla/&lt;profilename&gt;/&lt;random&gt;/prefs.js</li> <li>■ /usr/lib/mozilla-1.4/defaults/pref</li> </ul> 次の行を変更する必要があります。  <pre>pref("network.protocol-handler.external.mailto", true)</pre> この行を次のように変更します。  <pre>pref("network.protocol-handler.external.mailto", false)</pre>
Evolution を使用して、Java Enterprise System アカウント用に プロトコル設定を修正したいのですが。	Java Enterprise System サーバーが http プロトコルを使用している場合に、Java Enterprise System アカウント設定で誤って https プロトコルを選択すると、Evolution を使用して「設定」からプロトコルを修正できません。  この問題に対する回避策として、Java Enterprise System フォルダを右クリックして、メニューから「パスワードを削除する」を選択してください。Evolution を再起動して、「パスワードの入力」ダイアログを取り消します。以上で正しいプロトコルを「設定」で選択できるようになります。
CDE カレンダーアプリケーションで Evolution を使用できますか。	いいえ。Evolution は Java Enterprise System カレンダーサーバーにのみ接続できます。

## Unicode 多言語コンピューティングへの移行

Java Desktop System は、Unicode UTF-8 エンコーディングの言語をサポートする、Unicode 完全対応の多言語システムです。Java Desktop System は、UTF-8 以外の従来の言語のエンコーディングをサポートするための、コードセット変換も提供します。

### 従来の言語オプション

ログイン画面の言語選択メニューには、ロケール名の代わりに、サポートされる Unicode UTF-8 言語名のみが表示されます。Java Desktop System は、Unicode への移行をサポートするために、従来のロケールを提供しています。システム管理者は、ログイン選択メニューに UTF-8 以外の従来のロケールをオプションとして追加することができます。

ログイン画面の言語選択メニューに表示される言語は、次のファイルで設定されます。 /etc/X11/gdm/locale.alias

サポートされる従来のロケールは、先頭に # 文字が付いたコメント行でこのファイル内にリストされます。たとえば、日本語サポートは次のようにリストされます。

通常の行	コメント行
Japanese ja_JP.UTF-8	#Japanese ja_JP.eucJP

言語選択メニューのオプションとして ja\_JP.eucJP を表示するには、locale.alias ファイルをテキストエディタで開いて、行頭の # 文字を削除します。

## データのインポートとエクスポート

Unicode 多言語コンピューティングへの移行によって影響を受けるデータは、様々な方法でインポートおよびエクスポートできます。

## リムーバブルメディア

システム管理者は、FAT および VFAT ファイルシステムタイプ用のマウントオプション (codepage および iocharset) を設定する必要があります。この種のファイルシステムタイプは、通常、Microsoft Windows のフロッピーディスク、zip ドライブ、リムーバブルハードディスクに使用されます。ただし、日本語ロケールでログインしたときは mount コマンドが自動的に iocharset および codepage を設定するため、特にユーザーが意識する必要はありません。

## Samba を使用してリモートの Microsoft Windows ファイルシステムをマウントする

CIFS を使用して共有されるリモートの Microsoft Windows ファイルシステムや、SMB によって別のシステムからエクスポートされたファイルシステムにマウントするには、システム管理者がマウントオプションの codepage と iocharset を設定する必要があります。たとえば、日本語 Microsoft Windows で使用されているファイルシステムをマウントするには以下のように設定します。

```
# mount -t smbfs -o
username=foo,password=bar,codepage=cp932,iocharset=utf8
//server_name/share_name /mount_point
```

## Samba を使用してリモートの UNIX ファイルシステムをマウントする

Java Desktop System は、SMB を使用して、UNIX および Linux システム上の遠隔ファイルシステムにアクセスできます。エクスポートを行うサーバー側は、samba または同等のものを実行して、リモートファイルシステムをエクスポートする必要があります。従来のデータが従来のエンコーディングで格納されている場合には、クライアント側でファイルシステムのエンコーディングを指定することができます。ファイル名のコードセット変換は、自動的に行われます。

## Microsoft Office ファイル

Microsoft Office ファイルは、Unicode でエンコードされています。StarSuite アプリケーションは、Unicode でエンコードされたファイルを問題なく読み取りおよび書き込みできます。

## HTML ファイル

Mozilla Composer などの HTML エディタを使用して作成した HTML ファイルや、Web ブラウザによって保存された HTML ファイルには、通常、charset エンコーディングタグが含まれています。エクスポートまたはインポートしたあとの HTML ファイルは、HTML ファイル内のエンコーディングタグに基づいて、Mozilla Navigator Web ブラウザで表示したり、Mozilla Composer を使用してファイルを編集することができます。

## 壊れた HTML ファイルの修正

HTML ファイルは文字化けする場合があります。この問題は、概ね次の理由により発生します。

- charset エンコーディングタグが正しくない。
- charset エンコーディングタグがない。

HTML ファイルの charset エンコーディングタグを見つけるには、次の手順を実行します。

1. Mozilla を使用してファイルを開きます。
2. Ctrl+I を押すか「表示」をクリックして、「表示」メニューを開きます。
3. 「**Page Info**」をクリックします。

charset 情報は、「一般」タブの下に次のように表示されます。Content-Type text/html; charset=us-ascii

文字列 charset=us-ascii が、ファイルの実際のエンコーディングと一致しない場合、そのファイルは壊れているように見ることがあります。HTML ファイルのエンコーディングを編集するには、次の手順を実行します。

1. Mozilla Composer でファイルを開きます。
2. 「ファイル」メニューを開きます。
3. 「Save As Charset」を選択します。
4. 正しいエンコーディングを選びます。Mozilla Composer は、自動的にエンコーディングと charset タグを適切に変換します。

## 汎用形式で保存された電子メール

現在使用されている電子メールは、MIME charset タグでタグ付けされています。Java Desktop System のメールアプリケーションである Evolution は、MIME charset タグを認識します。したがって、エンコーディング変換を実行する必要はありません。

## プレーンテキストファイル

プレーンテキストファイルには、charset タグがありません。ファイルが UTF-8 エンコーディングでない場合、エンコーディング変換を行う必要があります。たとえば、繁体字中国語の big5 でエンコードされているプレーンテキストを UTF-8 に変換するには、次のコマンドを実行します。

```
iconv -f big5 -t UTF-8 inputfilename > outputfilename
```

また、テキストエディタ (gedit) で変換する文字エンコーディングの設定を行なって、ファイルを読み込むときに文字のエンコーディングが自動的に変換されるようにすることもできます。

---

## サポートされる言語

次の表に、このリリースの Java Desktop System でサポートされる言語を示します。

---

サポートされる言語
-----------

---

英語
----

フランス語
-------

ドイツ語
------

イタリア語
-------

---

---

サポートされる言語

---

日本語

韓国語

スペイン語

スウェーデン語

簡体字中国語

繁体字中国語

---

注 - ブラジルポルトガル語はユーザーインターフェースのみがサポートされます。

---

---

## ATOK X 日本語入力方式に関する注意事項

このリリースでは、デフォルトでは ATOK X 日本語入力方式の AUX 機能は正常に動作しません。問題となる AUX 機能には、ATOK パレット、システムライン、文字パレット、環境設定、カスタマイザ、単語登録、辞書ユーティリティなどが含まれます。詳細は、『Java Desktop System Release 2 問題の解決方法』の「各国語化の問題」を参照してください。

---

## サポートされていないアプリケーション

次の表に、Java Desktop System のうち、Sun がサポートしないアプリケーションを示します。

---

サポートされないアプリケーション

説明

---

グラフとフローチャート      グラフとフローチャート作成ツール

Image Editor      画像を編集する GNU 画像処理プログラム

---

サポートされないアプリケーション	説明
Digital Camera	画像を管理するデジタルカメラユーティリティ
Image Organizer	画像のサムネイルをデスクトップに表示する画像ビューアとブラウザ
Video Conferencing	テレビ会議アプリケーション
Project Manager	プロジェクトスケジュールの管理用ツール
Movie Player	動画を再生できるマルチメディアプレイヤー
Text/Source Editor	プログラマのための汎用的な拡張可能なエディタ
辞書	単語の定義および正確なスペルを調べることができるオンライン辞書
Diagram Editor	フローチャート、地図、UML 図など、数多くの図を作成できる図形エディタ
Disk Analyzer	ディスクの中身を視覚的に表示できるディスク解析プログラム
Weather Report	さまざまな地域の現在の天候を表示する天気予報プログラム

## サポートされない Sun 以外のアプリケーション

次の表に、Java Desktop System のアプリケーションのうち、Sun がサポートしない Sun 以外の製品を示します。

Sun 以外の製品	説明
Adobe Acrobat Reader	PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示できる
Macromedia Flash Player	Web 上で対話的にマルチメディアを再生できる
RealPlayer	一般に使用されている、さまざまな形式のメディアファイルを再生できる

---

## サポートされないゲーム

次に、Sun がサポートしないゲームを示します。

- Freecell
- GTali
- Gataxx
- Glines
- Gnect
- Gnibbles
- Gnotski
- Iagno
- Mahjongg
- Mines
- Robots
- Same GNOME
- Stones
- Tetravex

---

## 製品の更新

次に、Java Desktop System の製品の更新をダウンロードできる場所を示します。  
<http://jdsupdate.sun.com>

---

## 顧客サポート

次に、Sun が提供するカスタマサポートサービスを示します。

保存場所	説明
<a href="http://www.sun.com/service/contacting/solution.html">http://www.sun.com/service/contacting/solution.html</a>	技術サポートセンター
<a href="http://www.sun.com/service/support/warranty/">http://www.sun.com/service/support/warranty/</a>	グローバル保証サポート

保存場所	説明
<a href="http://www.sun.com/service/support/software/desktop/index.html">http://www.sun.com/service/support/software/desktop/index.html</a>	ソフトウェアサポートサービス

## インストールと設定のサポート契約

インストールと設定のサポート契約は、契約者が標準インストールを使用していることを前提としています。標準インストールとは、製品の対象範囲に含まれる、あるいは保守用 Web で提供されているパッケージだけをインストールした Sun Java Desktop System 販売製品を指します。

インストールと設定のサポート契約は、標準インストールに対してのみ履行されません。契約申し込みをした後、契約者が標準インストールを変更した場合、契約者はその事実を速やかにサポート提供者に通知する必要があります。サポート提供者が、インストールと設定のサポート契約の変更を受け入れなかった場合、あるいは、契約者が変更を報告しなかった場合、サポート提供者は例外的に、変更の通知後すぐに、インストールと設定のサポート契約を解除する権利があります。

